

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP4-23	研究期間	2023年9月26日から2030年12月31日まで
研究課題名	広島・長崎原爆被爆者における甲状腺疾患		
研究責任者(所属)	今泉美彩(放射線影響研究所)		
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的： 原爆被爆者では甲状腺がんが増えています。がん以外の甲状腺疾患、例えば甲状腺結節や甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、慢性甲状腺炎などについては良くわかっていません。本研究の目的は、1) 原爆放射線被ばくと甲状腺疾患の発生率の関連を明らかにすること、さらに2) 原爆放射線被ばくが甲状腺結節の進展に及ぼす影響を明らかにすることです。 利用方法： 放影研で定期的に健診を受けられている原爆被爆者の方で、被爆時の年齢が10歳未満の方と胎内被爆者の方を対象とします。2000年以降に放影研で同意をいただいて実施した甲状腺検査の結果などを用いて甲状腺疾患の発生率を調査し、被ばく線量との関連を調べます。また甲状腺結節の増大と被ばく線量との関連も調べます。		
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 提供先機関名：全国がん登録、広島県・広島市・長崎県の地域がん登録事業部門、受診されたことのある医療機関 <input type="checkbox"/> 無		
利用し、又は提供する試料・情報の項目 (提供する試料・情報の取得の方法)	利用する情報は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none">● 放影研に保存されている情報：健診の情報(甲状腺質問票と病歴問診、甲状腺超音波検査、甲状腺血液検査、甲状腺検査の実施年月日、医療機関から提供された精密検査結果などの診療情報、被ばく線量、被爆位置(近距離/遠距離)、喫煙歴、性別、生年月日、被爆市、コホート分類)● 全国がん登録および広島県、広島市、長崎県の地域がん登録から提供される情報：術後甲状腺の診断名、診断年月、組織所見および臨床情報(がんの進展、転移、病期など)● 医療機関から提供される診療情報：検査結果、診断名、診断年月日、治療内容など		

	<p>提供する情報は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">● 放影研に保存されている氏名、性別、生年月日、および住所を、がん登録情報を取得する際に、研究計画書 RP18-61 と RP29-60 に基づいて全国がん登録、および地域がん登録の担当部署に提供し、個人照合を行います。また受診されたことのある医療機関から診療情報を取得する際にも、その医療機関にこれらの情報を提供し、個人照合を行います。これらの情報は照合以外の目的には使用されません。） <p>*医療機関からの診療情報は、ご本人または代諾者の方から同意いただいた場合にのみ医療機関から取得して利用します。</p> <p>*解析では氏名、住所は用いず、個人が特定されない形で解析します。</p> <p>*情報の利用または提供を開始する予定日は、2023年9月26日です。</p>
利用する者の範囲	<p>放射線影響研究所</p> <p>今泉美彩 大石和佳 飛田あゆみ 山田美智子 立川佳美 中溝知樹 吉田稚明 栗栖 智 加藤直弘 スポスト・リチャード 坂田 律 ブレナー・アリーナ</p> <p>長崎大学 宇佐俊郎 堀江一郎</p> <p>土谷総合病院 杉野圭三</p>
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	今泉美彩（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：今泉美彩 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：長崎市中川一丁目8番6号 TEL：095-823-1121</p>